

より良い教育環境を目指して 学校適正配置検討委員会が最終答申

小・中学校のより良い教育環境を整備し、充実した学校教育の実現を目指して4年間に亘り検討してまいりました下野市学校適正配置検討委員会の最終答申が10月20日開催の教育委員会定例会において報告され、受理されました。

この委員会は、先に審議がなされた「下野市通学区区域審議会」の答申を受けて、より深く研究・検討する委員会として、平成20年7月に設置され、市教育委員会より次の諮問を受けました。

(1) 学校適正配置・規模についての基本的な考え方と具体的方策

(2) 通学区区域の適正についての基本的な考え方

委員会は18人の委員で構成、平成20年度から21年度を前期とし、計7回の会議と学校視察、保護者、一般等へのアンケート調査等を行ない、その結果を平成22年2月「中間答申」として市教育委員会へ報告しました。

後期となる22年度・23年度は、先の「中間答申」の基本的な考え方にに基づき、8回の会議を開催し、通学区区域の変更を含めた学校の適正規模、適正配置について様々な観点から審議を重ね、今回の最終答申となりました。答申には、

通学路の安全確保の観点から通学区区域の変更や通学区区域が重なっている地域の通学区区域指定、適正規模化や複式学級解消のための統合などが挙げられています。



岸野会長より永山教育委員長に答申書を提出

学校規模及び配置の適正化の推進について依頼

下野市学校適正配置検討委員会の最終答申を受けた教育委員会では、11月28日永山委員長が広瀬市長に、その報告と市当局へ下野市一体となつての推進を依頼しました。

今後は、学校や地域、市民の方のご意見を伺いながら、具体的な計画を策定していく予定ですので、よろしくお願ひします。

● 問い合わせ先

教育総務課 ☎(52)11117

ほめて伸ばす

児童表彰条例に基づく表彰式を行いました

この条例は、児童の良さを見つけ、その良さをさらに伸ばすため、市内小・中学校すべての児童を卒業までに表彰するというものです。

今年度も10月から11月に各学校において表彰式が行われ、表彰される6年生児童には広瀬市長からメダルが、古く教育長から賞状が授与されました。立派な態度で式に臨んだ児童達は、いただいた賞やメダルの重みを受け止め、ともうれしそうでした。

各校の様子を市ホームページでも掲載していますのでご覧ください。

● 問い合わせ先

教育総務課 ☎(52)11117

